

DX デザイン思考 アイデア創造フレームワーク①

DX デザイン思考とは何か？

「いかに成果を出す事。それを最大化する事」実務者として、日々皆さんの中心にあるのはビジネス思考です。可能な限り、業務を効率化し、コストを削減し、狙ったゴールに最短で辿り着く事を求められます。ここでは、DX デザイン思考を理解いただく為に、アイデア創造のフレームワークに関して解説します。

ビジネス思考とDX デザイン思考は違う

ビジネス思考は、狙ったゴールに最短で辿り着く為に、企業や業界の常識をベースに、最短で間違いが無い様に、ご自身の勘や経験、データ駆使し実践します。一方で、DX デザイン思考とは、そもそも、答えのない問いを探し設定し、問題解決やアイデアを創出する為に多様な人々のアイデアでアプローチしデジタルを適用し解決する思考です。故に、初期の段階では大抵行き詰りの状態に陥ります。右往左往しながら、脱却するために試行錯誤を重ねる事で道が開けるのです。そして、常にそこにはモヤモヤ感やストレスがあります。その際、実装すべきは突破する為のフレームワークです。



フレームワークとは、日本語では技法として表現をされます。答えに効率的にいき着く為に、考えを整理しやすいように図式化し、それに沿って情報や考えを整理し、新しい発想や状況分析を効率よく行う事で、用途や状況に合わせて活用します。いくつもの種類があり、多くは複数のフレームワークを併用して活用します、1つのフレームワークを使ったり、複数のフレームワーク使ったり、柔軟に変え何度でもアイデア創造をします。

その際に、見直しの起点となるのが、過去のワーク結果や気づき(インサイト)になります。インサイトとは、気づきや洞察とも言われます。相手の視点に立って相手のことを考えたときに相手がどのように思っているのかというツボ、スイッチ、視点のことを意味します。インサイトは常にアイデア発創の基軸となります。そこを起点としながら、何度も方向転換(ピボット)を繰り返します。

アイデア創造フレームワーク

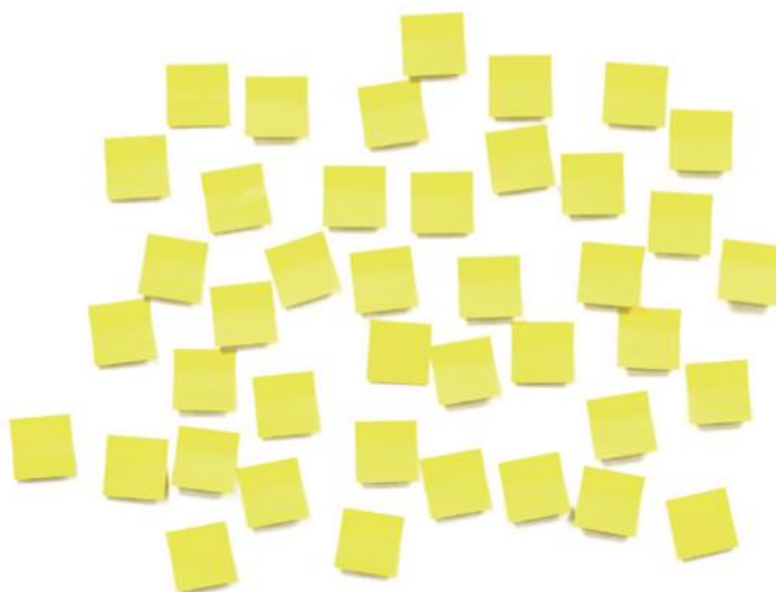
ここでは、アイデアを創造する際に、有効的なフレームワークを解説します。(出典参考情報:文部科学省 イノベーション対話ツール)

アイデア創造フレームワーク

フレームワーク名称：ブレインストーミング

フレームワーク全体像

グループワークを通じ多様性を活かし一人では、簡単には到達できない範囲のアイデアを創造することが可能です。選んだテーマに対して、アイデア創造する場合(多数のアイデアを出したいとき)には、参加者の多様性を活かし、取り組みやすいテーマからスタートし、他人のアイデアに乗っかりながら、アイデア連想をおこなうことで、思考を発散させ、より広いアイデア創造をおこないます。ブレインストーミングは、その結果から直接的にインサイトを得られることもあります。親和図法(KJ法)、2×2(2軸図)、バリューグラフなどの他の構造化手法と組み合わせることで、より多くのインサイトを得る事ができます。



ブレインストーミング
Brainstorming

フレームワークの目的

1. 主目的 : 思考の発散 相互理解
2. 2次目的 : 共感

フレームワークの狙い

1. 思考を十分に発散することによる、更なる創造性の拡大。
2. グループの相互理解と共感の醸成
3. 集団によるアイデア創造感覚の理解

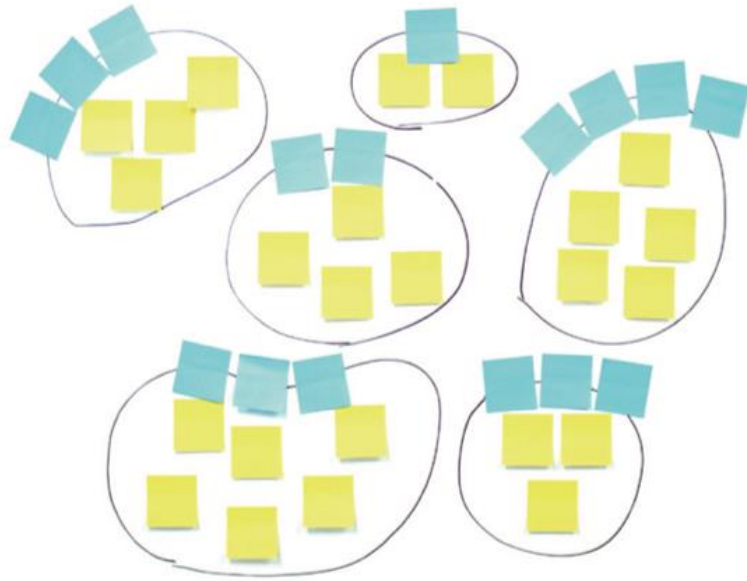
フレームワークの活用シーン

1. 多様性を活用したアイデア探索に対する理解を醸成したいとき
2. 多数のアイデア探索を出したいとき
3. インサイトを得るための解空間を拡げたいとき

フレームワーク名称:親和図法(KJ 法)

フレームワーク全体像

ブレインストーミングで出した数多くのアイデアを“意味の近さ(親和性)”に基づき、グルーピングしていく手法です。対象とした情報を親和性に基づいてまとめます。それを全体として捉えることは、これまでに気づいていなかった傾向や枠組みを見える化することができます。作成する過程で、グループの合意形成が行われ、作成の結果からインサイトを得ることができます。



親和図
Affinity Diagram

- フレームワークの目的
 1. 主目的 : 思考の発散 思考の収束 共感
 2. 2次目的 : 相互理解

- フレームワークの狙い
 1. アイデアが、構造的に見える化され、新たな意味合いが抽出される。
 2. グルーピングされたアイデアの関係性が明らかになる。
 3. 参加メンバーに、共感と相互理解が促進される

- フレームワークの活用シーン
 1. 数多くのアイデアを整理したいとき。
 2. 整理されたアイデアからインサイトを得たいとき。
 3. テーマに対する多様な参加者の合意形成をしたいとき。

今回は、ブレインストーミングと親和図法(KJ法)を解説しました。是非、皆様も参考にされて問題解決やアイデア創造に取り組んでみてください。きっと、お役に立てるはずです。

本件に対するお問い合わせは、下記の連絡先までお願い致します。

デジタルサーフ株式会社

153-0063 東京都目黒区目黒 2-11-3 1階

charlie@digitalsurf.net 担当 / 飯盛